

特設駅伝部特集

創部3年目にして、大快挙の女子駅伝部。選手の皆さんよりコメントをいただきました。目指せ全国制覇!!

3年 高橋 葵 (第1区)

関東では優勝を目指していましたが、5位という結果でとても悔しい思いをしました。しかし、全国制覇の意識をもっと高めることができたと思います。そして、全国大会では、1区として上位で襷を渡すのが目標でしたが、18位で2区に渡してしまって、チームに迷惑をかけてしまいました。自分の走りとしては悔いが残りましたが、4位という結果を残せてとても嬉しかったです。私は3年間、このチームで頑張れて、駅伝という競技をやれて、とても楽しかったし、大きく成長することができました。本当にありがとうございました。

2年 當谷 ありさ (第5区)

私たち女子駅伝部はこの約1年の間に大きく成長したと思います。私が1年生の時、リーダーの指示は通らず、練習も集中できないことが多かったです。でも、去年の県駅伝でのあの2秒の悔しさを味わい、みんなの気持ちに変化したように感じます。そして、全国制覇、日本一になると決め、挑んだ今年の関東大会では5位で、自分の無力さを感じました。でも、全国駅伝では、今の自分の力を最大限出せました。結果は4位だったけれど、私は今回のメンバーで全国制覇を目指すことができて、よかったです。本当に最高のチームです。来年こそ日本一になれるよう、日本一の努力をしたいです。

3年 吉田 千景

関東・全国駅伝へ沢山の応援本当にありがとうございました。今回、全国まで行くことができたのは、これまでのサポートの力がとても大きかったからです。全国という大きな舞台で自分たちの力を出し切れたと思います。中学校最初で最後の大会は私の大切な宝物になりました。ここまでの練習、そして本番がとても充実していて楽しかったです。でも、私たちが本当に目指していた全国制覇という目標を残してしまったので、次は私たちが届かなかったところまで行ってほしいと思います。

2年 久保 冨咲

今年は全国・関東両方に出場することができました。私はサポートだったので、選手が全力で走れるよう、今出せる最大の声で応援するなど私に出来る精一杯のことをやりました。選手みんながどんどん順位を上げてくれて、全国4位、関東5位でゴールすることが出来ました。しかし、2年間全国制覇に向けて頑張ってきたので、すごく悔しかったです。でも今年のメンバー11人で全国に行けたこと、4・5位になったことがすごくうれしかったです。来年こそは全国制覇が出来るように頑張ります。沢山のご支援とご声援ありがとうございました。

2年 原有彩 (第3区)

私たちのために寄付などのご支援と沢山の応援を下さり、本当にありがとうございました。とても力になりました。私は全国大会・関東大会ともに3区を走りました。どちらも目標の区間賞には届きませんでしたが、全力を出し切りました。また、どちらも優勝という目標には届きませんでしたが、チーム全員で勝ち取った全国4位、関東5位は私の誇りです。次の目標は、県新人駅伝3連覇と全国制覇です。目標達成のために普段の生活を見直し、あいさつや声出しなどの細かいところも気を抜かず、走り以外の部分でも“日本一”を目指します。

3年 浅野 萌

私たちが陸上部に入ったばかりの頃は、まだ創部したばかりで部員数も少なく全国を目指すようなチームになるとは思っていませんでした。しかし、切磋琢磨し合いながらチームが成長していき今年は全国大会出場を果たしました。全国大会という舞台で私は走ることはできませんでしたが、サポートや応援を一生懸命やり、4位に入賞できたのは本当に良かったです。今まで支えてくれた友達、両親、そして何より私たちをここまで育ててくださった田中先生、石井先生には感謝しかありません。また、今まで培ってきたことをこれからの人生で活かしていけるようにしたいです。

2年 豊田 双葉

関東・全国駅伝大会出場にあたり、沢山のご声援やご支援本当にありがとうございました。私は全国大会で補欠としてロードレースの部に出場しました。私の目標は1位をとることでしたが、総合4位という結果に終わってしまいました。目標には届きませんでしたが、貴重な体験をすることができました。今回の大会を通じて、様々な場面でたくさんの人に支えられていることを実感しました。このことを日々の生活でも意識し、感謝する気持ちを忘れずに過ごしたいと思っています。

1年 手塚 万莉

関東、全国大会の沢山のご支援本当にありがとうございました。私は今までお世話になった先輩たちに感謝の気持ちを込めて、サポートとロードレースで走ることができたと思います。この駅伝大会で沢山の貴重な体験をさせていただきました。関東、全国での駅伝を見ることが出来て、大きな刺激を受けることができました。特に全国大会では自分がその場で走ることが出来て、本当にうれしかったです。これからも、関東・全国大会出場に向けて、日々努力していきたいです。そして、一人一人が“その1秒を大切に”して頑張りたいです。

パワーリフティング教室

2018.12.13

Get the No.1
TOKYO 2020

オリンピック・パラリンピック教育推進指定事業の一つとして、パラ・パワーリフティング宇城元選手、瀬尾桂一選手、瀬尾雅也選手が久寺家中学校を訪れ、パワーリフティングのルール説明やパラリンピックの魅力を映像により紹介してくださいました。各クラスの代表生徒と教師による体験会も行われ、ベンチプレスを20kgから70kgまで挑戦!! 自分の体重より重いものを持ち上げると、会場からは歓声があがり、大いに盛り上がりました。筋肉ムキムキのアスリート体型に感心し、パラリンピック競技への理解も深まったひとときとなりました。



パワーリフティング体験談

3年2組 平岡 咲良

パワーリフティングを実際に体験してみて、普通に物を持ち上げるよりも難しく、筋肉の使い方も違い、100kg以上を持ち上げる選手の方達は、並外れた努力をしているのだと感じ、体験後に改めて、この競技と選手の方の凄さを感じました。滅多にない貴重な体験ができて、とても良かったです。



【編集後記】取材にご協力下さった皆様、本当にありがとうございました。取材を通して、学校行事や子供たちの様子を身近に感じる事が出来ました。

※当広報の無断転載はご遠慮ください。

(広報委員会)